

# 改正教職課程認定基準等について

主催：大学教務実践研究会 共催：東海国立大学機構名古屋大学高等教育研究センター[質保証を担う中核教職員能力開発拠点]

2023年2月11日（土） 14:00～17:00

小野 勝士 氏  
(龍谷大学 社会学部教務課)

多畑 寿城 氏  
(神戸女子大学 事務局長 (教職課程改革担当))



本講習会では、10月1日に施行された改正大学設置基準を受けて改正された教職課程認定基準等について、11月25日に開催された教員養成部会（第133回）や12月20日開催予定の令和4年度教職課程認定等に関する事務担当者説明会の資料をもとに、登壇者の対談、参加者からの質問を交え、改正の要点について、理解を深めたいと思います。改正教職課程認定基準等の理解が不安な方は、奮ってご参加ください。

本セミナーは Zoom によるオンライン開催です。

- ・カメラ&マイクが利用可能で、高速なインターネットに接続された PC 等が用意できること
- ・発言等ができる静穏な環境で参加できること

以上をご確認のうえお申し込みください。

## □開催時間

- 13:50～14:00 オリエンテーション
- 14:00～16:00 講習会 ※途中 10 分休憩含む<録画あり>
- 16:10～17:00 質疑応答<録画なし>

## □録画映像のアーカイブ配信について

- ・当日の内容を録画し、後日、期間を限定して録画映像のアーカイブ配信を予定しております。動画配信は、14:00～16:00 の講習会部分になります。アーカイブ視聴希望の方も申し込み期限内に申し込み手続きをお願いします。
- ・質疑応答以外の時間帯に参加者の方がご発言等された場合、その映像・音声は録画に含まれることがありますので、あらかじめご了承ください。

## □お申込み：<https://kyoumujissen0211.peatix.com> からお申込み下さい。

- ※複数人申し込みされる場合であっても1回の申し込み手続きで10名まで申し込みできます。申し込み後、参加される方にチケットの譲渡手続きを行ってください（詳細はpeatixの参加者ヘルプサイトにてご確認ください）。
- ※銀行振込ご希望の方はお問い合わせ先までご連絡ください。

## □申込期限：2月9日（木） ※いただいた個人情報は、本企画運営の目的にのみ使用いたします。

- 参加費：1名につき2,000円（銀行振込希望で請求書等書類が必要な場合は1名につき2,500円）  
※名古屋大学・岐阜大学所属の方は無料です。  
※支払い方法等詳細は次頁に記載しております。

## □お問い合わせ先 [nagoya@kyoumujissenn.com](mailto:nagoya@kyoumujissenn.com)（大学教務実践研究会）

## ◆教員免許事務プロジェクト

教育職員免許法を始めとする法令の解釈等の教員免許事務の理解を深め、実務上の課題を検討し、効果的なSDの在り方、人材育成を検討するために大学教務実践研究会のもとに設置されたプロジェクトの1つです。

教員免許事務担当者講習会の開催や共有できる知見をまとめ、各大学で使用できる汎用的なマニュアルや様式等を作成し、教員免許事務ポータルサイトにて共有する活動を行っています。

### プロジェクトコアメンバー

小野 勝士 龍谷大学 社会学部教務課

多畑 寿城 神戸女子大学 事務局長〔教職課程改革担当〕

美納 清美 国士舘大学 シニアスーパーアドバイザー

### プロジェクトアドバイザー

松浦 善満 大阪千代田短期大学 学長

### < 設立背景 >

「複数の学科間・大学間の共同による教職課程の実施体制について」（令和2年2月18日中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会教職課程の基準に関するワーキンググループ）及び『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」（令和3年1月26日中央教育審議会答申）の提言等を踏まえ、複数の学科等間の授業科目・専任教員の共通化や小学校教諭免許状と中学校教諭免許状の教職課程間の授業科目・専任教員の共通化の範囲の拡大、小学校教諭免許状の教職課程を設置する際の授業科目開設や専任教員配置の要件の緩和を内容とした教職課程認定基準等の大幅な改正が行われました。また、「各教科の指導法におけるICTの活用について修得する前に、各教科に共通して修得すべきICT活用指導力を総論的に修得できるように新しく科目を設けること」について検討し、速やかな制度改正等を行うことが必要であると提言されたことを踏まえ、小中高の普通免許状取得に必要な「教科及び教職に関する科目」の事項に「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」が新設され、このことに伴う変更手続きが必要となりました。

このように再課程認定後の新課程の完成年度前に大きく制度改正が行われるなど、教員免許事務担当職員には専門性が求められ、SDの必要性が高まっています。また、今年4月からは教職課程においても自己点検・評価が義務付けられ、ガイドラインに示された点検項目の1つにSDが掲げられています。

このような教職課程を取り巻く環境の変化に対応するため、大学教務実践研究会では昨年10月に「教員免許事務プロジェクト」を立ち上げ、教職課程を支える事務組織に有用なツールの開発を目指して活動をスタートしました。

## ■参加費の支払い方法・キャンセルについて

申し込みサイトにてクレジットカード、コンビニ、ATM払いが可能です

クレジットカード：VISA、MasterCard、JCB、AMEX、PayPal

コンビニ：LAWSON、FamilyMart、Mini Stop、Daily Yamazaki、Seicomart

ATM：Pay-easy、ゆうちょ銀行、ジャパンネット銀行、楽天銀行、自分銀行

コンビニ/ATM払いの場合は、1件につき220円の手数料が発生します。

キャンセルの方法についてはPeatixの参加者helpサイトを参照の上お手続きください。

コンビニ・ATM払いの場合、返金手数料としてキャンセル1件につき340円の手数料が発生します。

※領収書は peatixのサイトから出力できます(詳細はpeatixの参加者ヘルプサイトにてご確認ください)。